

1. 日時

令和8年3月7日(土) 午前9時から12時まで \*Cisco Webex を利用した web 会議

2. 議題

1. 理事長挨拶

2. 研究協議

(1) 令和7年度 検定試験実施報告

- ・第74回検定(令和7年9月7日実施)は、実申込者数47,425名で、前年度の48,262名より837名減少した。
- ・第75回検定(令和7年12月21日実施)は、実申込者数37,001名で、前年度の41,324名より4,323名減少した。例年12月検定は申込者数が減少傾向にあるが、今年は大幅な減少となった。

(2) 令和7年度英語研究部事業報告

- ・英語スピーチコンテストが令和7年9月21日(日)、東京の全商会館で開催された。レシテーションの部とスピーチの部を合わせ、82校94名の生徒が出場した。昨年同様、両部門ともに本選のみで入賞者を決定した。

(3) 第74回・75回英語検定問題考察

今年度の問題を精査し、今後も問題の多様性に配慮した適切な作問に努めていく。

(4) 試験の実施について

- ・ユーザIDと受験番号について  
従来マークシートに記入していた「受験番号」は昨年度より「ユーザID」に変更している。
- ・受験番号は6桁でなくてよい。1桁から付番できる。
- ・マークシートは記入欄以外の余白部分には何も記入しないよう受験生に注意する。読み取りエラーで採点ができなかったマークシートは欠席扱いとなるので十分注意してほしい。
- ・成績入力手順について

(5) 令和8年度第76回・第77回英語検定試験について

令和8年9月6日(日)、令和8年12月20日(日)に実施予定。

(6) 令和9年度以降の英語検定試験について

令和9年度より試験日が変更となる。(9月実施では大学等の推薦入試に間に合わない、前期と後期との時間差が短く、後期に向けての勉強時間が確保できない、などの理由による。)

変更前 前期：9月第2日曜日、後期：12月第3日曜日

変更後 前期：★7月第3日曜日、後期：12月第3日曜日

(7) 令和8年度以降の英語スピーチコンテストについて

- ・令和8年度日程：令和8年9月13日(日)  
※例年9月第3日曜日の開催となっているが、令和8年9月の第3日曜日は5連休に当たり全国的に交通費や宿泊代の高騰が予想されるため、9月第2日曜日に変更する。令和9年度以降は9月第3日曜日の開催となる。
- ・令和8年度(第43回大会)からの出場資格の変更について

- 変更点1 レシテーションの部は、満5歳の誕生日以降に英語を日常語とする国に通算6ヶ月以上の滞在期間がある者、スピーチの部は、満5歳の誕生日以降に英語を日常語とする国に通算1年以上の滞在期間がある者は出場できない。（「英語を日常語とする国」については一覧表あり）
- 変更点2 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（インターナショナルスクール等）に通算6ヶ月以上在籍したことのある者は出場できない。

### 3. 文部科学省講話

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室 教科調査官 岩館良伸氏

次期学習指導要領の改訂に向けての検討が進んでいる。産業教育では生徒が社会や市場環境の変化に対応し、自らの人生を主体的に舵取りする力の育成が重視されており、データサイエンスや生成AI・ICTを活用した探究的・実践的な学びの充実が求められている。また、商業高校などの専門高校は、専門的知識や技術だけでなく、地域の発展やDXに対応できる人材を育成する役割を担っている。そのため、資格取得だけでなく、課題発見・解決のプロセスを重視した学習を行い、思考力・判断力・表現力を育てるとともに、個別最適な学びと協働的な学びを通して実践知を身に付けることが重要である。

### 4. まとめ

商業高校での英語教育では、産業界や社会の変化に対応できる実践的な英語力の育成が求められる。生成AIやICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを通して、社会に主体的に関わる力を育成することが必要であると感じた。